## 第１学年　「くさきもわたしもころもがえ」

鳥栖・基山支部　麓小学校　徳富嘉代子

１　単元計画

【単元の目標】

○秋の遊び場などで、身近な自然に関心をもってかかわり、季節の変化に気付くとともに、そこで見つけた木の実や落ち葉などの自然を利用して、友達と一緒に、様々な遊びを工夫しながら楽しく遊ぶことができる。

【単元の流れ】

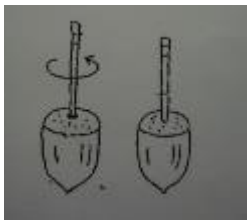
１　あきをさがそう　　３時
２　あきのあそびばにいこう　３時
３　つくってあそぼう　　４時　　（本時９／１３時）
４　みんなであそぼう　　３時

２　本時の目標

・木の実や落ち葉を使って、楽しく遊ぶためのおもちゃや飾りを作ることができる。

３　授業の実際

| 主な学習活動・児童の反応 | 教師の働きかけ（○） |
|---|---|
| １　本時のめあてを確認する。 | |
| きのみやおちばをつかって、おもちゃやかざりをつくろう。 | |
| ・前時の活動を振り返る。<br>・材料、用具、時間などを確認する。<br>・作る時の約束を確認する。<br>活動の約束<br>１わからないところは、おしえあおう。<br>２じかんをまもりきょうりょくしてかたづけよう。 | ○前時の活動（つくりたいなカード）をもとに本時の活動を確認し、めあてをもてるようにする。<br>○作ったり、飾ったり、試したりする場所を十分に確保する。 |
| ２　おもちゃや飾りを作る。<br>・作ったもので、試して遊んでみる。<br>・うまくいかなかったら、作りなおしてまた遊んでみる。 | ○児童一人一人の進み具合を見ながら、働きかける。<br>○教え合ったり、助け合ったりしている児童を賞賛し、みんなに紹介して意欲の向上を図る。<br>○作品が仕上がった児童には、試したり改良したりするように勧める。 |

| | |
|---|---|
| 「どんぐりごまのつまようじは、みじかいほうがよくまわったよ。」<br>「まん中にあなをあけると、よくまわるよ。」<br>  | ○作るもののイメージが乏しい児童には、絵本や写真・参考作品を見せて助言する。<br>○技術が未熟でうまくできない児童には、手伝ったり、友達同士で教え合うように働きかける。 |
| 「どんぐりを目にしよう。」<br> | 「わたしは、木のえだをあしにして、ススキをしっぽにしたよ。」<br> |
| 3　後片付けをする。 | ○使ったものは元の場所に返し、きちんと後片付けをさせる。<br>○進んで片付けている児童を賞賛する。 |
| 4　全体で本時の学習を振り返る。<br>・作品を見せ合う。<br>・感想を発表する。 | ○秋の自然を利用して、おもちゃや飾りが作れること、それを使ってみんなと遊ぶと楽しいことに気付いている。（気付き） |
| 5　次時の活動内容を聞く。 | ○作ったおもちゃを使ってみんなで遊ぶことを知らせる。 |

4　考察

1年生だったため、生活科で実践を行った。4月から半年近く同じ学級で生活をしているので、保育園・幼稚園が違っても仲良くなっていた。互いに試行錯誤しながら、よい方法があると教え合う姿が見られた。

今回必要な材料は「あきをさがそう」の学習の際に集めさせたり、その他の時間に各自で集めたりするようにしていた。どんぐりごまを作っている児童は、穴の位置を変えたり、つま楊枝の長さを変えたりするのにどんぐりの数が十分ではなかった。また、話すことが苦手な児童へのきめ細かな支援が必要であった。